

やさしさ織りなす S A P P O R O

やさしいまち

2022. **3** No.248



特集 「支援する」

高齢者の住まい

～北国の豊かな居住空間～

社協の[S]と札幌市民の[S]を組み合わせ、「ハート」をモチーフに、心の糸を紡ぐ社協のネットワークが、やさしく包む生地(札幌のまちの基盤の目)をつくりだす様子を表しています。

おひさまぼかぼか

お花見日和～♪

#おさんぼまもりん

#中央区 札幌市社会福祉総合センター

まもりん
ツイッター
更新中!



高齢者の住まい

～北国の豊かな居住空間～

特集 支援する



北海道科学大学
北の高齢社会アクティブライフ
研究所 研究員
建築学科 准教授
ふくだ なな
福田 菜々氏



北の高齢社会アクティブライフ研究所

私が勤める北海道科学大学は、1967年に北海道工業大学として手稲区に開学しました(2014年に現在の名称へと変更)。建築学科は開学5年後にあたる1972年に開設されています。したがって、今年は開設50周年を迎える節目の年となります。学科開設以来、北海道という地域に根ざした大学として、積雪寒冷地の建物における断熱技術や気密性能・結露防止などに関する研究や冬期においても安心して生活できる地域や都市の構築を目指しています。学生は建築学の基礎知識の修得と実務的な専門科目のほか、積雪寒冷地の諸条件を考慮した技術を修得しようと日々勉学に励んでいます。本学科で学んだ卒業生の数は3月に卒業する学生を含めると約6千人となり、現在様々な建築分野で活躍しています。

また、本学では高齢者・障がい者が、地域社会の中で可能な限り自立した日常生活活動(ADL)を送れるよう生活の質を高めると同時に、家族と社会の負担を軽減することを目的に、活力ある超高齢社会の創造を目指し、「北の高齢社会アクティブライフ研究所」を2017年に設

立しました。本研究所では、ADL支援、公共施設、公共交通機関、高齢者住宅におけるバリアフリー・ユニバーサルデザインを取り入れた環境整備支援に関連した研究を行っています。研究所の活動事例としては、手稲区に住む高齢者の健康状況及び運動機能の実態調査や病院との共同研究として高齢者の転倒予防等に対するリハビリテーション効果の検証などがあります。今後も、北海道の高齢者を中心とした研究を行っていく予定です。



北の高齢社会アクティブライフ研究所の活動(手稲区シニア体力測定会)の様子

共感
する育成
するつな
げる支援
するチャレンジ
する組織を
強くする

北方型住宅と高齢化社会との関係性

1979年に省エネルギー法が制定され、住宅の断熱性能への関心が高まったことを背景に、産学官が一体となって高断熱・高气密を目指し、北海道の気候風土に根ざした質の高い住まい「北方型住宅」の開発・普及に取り組んできたことをご存知でしょうか。この活動は、時代の流れとともに変化する住宅へのニーズを踏まえ、制度の見直しを行いながら、2020年には省エネだけでなく耐震性も強化した「北方型住宅2020」に発展させています。北方型住宅が定める性能基準の一つに「安心・健康」があり、「高齢社会への対応」も含まれています。すでに超高齢社会に突入している日本では、北国に限らず、住宅を設計する上で今や重要ポイントの一つです。具体策として、北方型住宅では、転倒や転落の防止策を講じること、介助が必要になった場合を想定し、車椅子使用者でも容易に生活行為が行えるように空間を確保すること、高齢者などの寝室はできるだけトイレと近接させて配置すること、また住宅内の段差は原則解消すること等をあげています。



段差のない玄関の例

高齢者にとって安心安全な住まい

では、実際の住宅はどのような点に配慮して設計されているのでしょうか。ここに661件の新築戸建専用住宅データがあります。これは、近年の北海道の住宅平面構成や断熱・工法などの傾向を把握する研究目的で、北海道の住宅情報誌「リプラン」における新築住宅紹介の欄（1999年～2020年発刊分）から学生が集めたものです。「高齢者」という語句を含むデータを抽出すると51件が該当しました。これらのデータからは、高齢者や将来の車椅子生活に配慮し、屋外から玄関までのアプローチ空間および屋内において極力段差をなくす、広い廊下幅に手すりの設置といったバリアフリー設計やワンフロアで生活

が完結する間取り、介護者の援助を想定し、十分な広さを確保した水回り空間などの特徴が見られます。その他、居間・食堂・台所が一体的にデザインされるLDK型が90%を占め、機能別に空間を細分化するのではなく、大きくて開放的な空間を状況の変化に応じて柔軟に利用できるように工夫している傾向も窺えます。ただし、積雪寒冷地において、広い空間は暖房効率にも影響しますので、高气密・高断熱住宅とすることが前提といえるでしょう。どこにいても暖かい空間であれば（温度のバリアフリー）、寒さの厳しい冬でも快適に過ごすことができ、高齢者に起こりやすいヒートショックの予防にも繋がります。

雪国ならではの地域とのつながり

このように、高齢化によって生じる様々な体の変化や衰えを理解し、それを支えられるような豊かな居住空間を創り出すことによって、個人が生活の質を高く保ちながら、住み慣れた環境で安心して健康に暮らし続けることが可能になると考えます。最後になりますが、冬季は住宅前の除雪も高齢者世帯では問題になることも多いです。北海道科学大学のボランティア局では、大学周辺の一人暮らし高齢者世帯を対象に除雪・氷結路面の解消などを支援しています。こうした支援や福祉制度を適宜利用しながら、安全で暖かい冬をお過ごしください。



広い廊下の例

研究所についてのお問い合わせ

(学)北海道科学大学 研究推進課
TEL:011-688-2241(直通)
FAX:011-688-2392
E-mail:kenkyu@hus.ac.jp

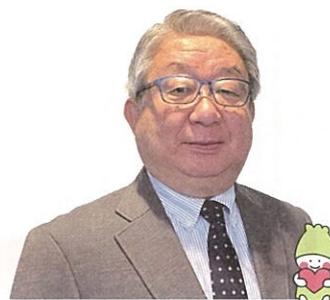


▲HPはこちら

ふくしを紡ぐ

先々の暮らしやすさを考えた家づくり

公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団 事務局長 堀越 良平氏



ノーマライゼーションの理念

私たち公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団は、ノーマライゼーションの理念に基づき、高齢者や障がい者が安全で安心して快適に暮らせる住生活環境の整備・向上を通して、すべての人が生きがいをもって生活できる社会づくりと社会福祉の増進に寄与しています。



プライバシーを守りながら解放的なリビング

私たちの活動と事業

当財団では、福祉住宅建築に関する助成及び情報提供事業を行っています。まずは助成金による福祉住宅建築支援についてご紹介します。

対象は、福祉住宅での新築(バリアフリーにした物件)リフォームの住宅改善・改修した建築主です。福祉小規模集合住宅(おおむね10名程度居住)の建築主に応募頂き、年1回総額300万円を審査委員会で対象物件を審査し、助成金を支援しています。

続いて情報提供事業として、福祉住宅建築助成事例集



車イスの動きに配慮した動線



手すりを設けた広い浴室



仕切りで分けることで介護しやすいきれいな部屋

「ふれあい」を発行しています。「ふれあい」では、助成対象物件を取材しまとめた事例集を掲載し、各社会福祉協議会、建築・福祉系教育研究機関、福祉施工会社、また一般市民等々に無料配布しています。それにより、バリアフリー住宅建築の参考になる様、役立てていただいております。

先を見越した家づくり

最後に、家族みんなが末永く安心して快適に暮らせる住まい作りのポイントをご紹介します。

移動しやすく最短距離の動線はバリアフリーの要 ～柔軟に対応できるバリアフリー住宅とは～

- スムーズに移動できる動線は身体の不自由な人だけでなく、誰もが先々快適に過ごせる家づくりのカナメ
- 手すりはあらかじめ設置するのではなく、必要に応じて施工できるよう壁に下地を入れておく
- ドアを開き戸ではなく引き戸にしておく
- 階段や通路幅は極力広くとっておく。階段の傾斜はゆるめに
- 玄関のアプローチに階段を設けない
- 真横に納戸などを配置する間取りにして、トイレのスペースを拡大しやすくする

以上のような備えの住まいづくりをしておくことでバリアフリーが必要になった際でも施工がしやすく、改修工事の費用も抑えられます。

皆さまの快適な家づくりの参考にいただければ幸いです。



直接乗降できるよう高さを調整した玄関ポーチ

お問い合わせ

公益財団法人
ノーマライゼーション住宅財団
札幌市中央区大通西16丁目2-3
ルーブル16 9F
TEL:011-613-7551



▲HPはこちら

シニアの住み替え

～市民による市民のためのシニア住まい相談～

一般社団法人あんしん住まいサッポロ しのづか まさのり
代表理事 **篠塚 正徳** 氏



あんしん住まいサッポロの活動

私たちは大きく分けて「高齢者向け住宅の情報提供と住み替え相談」と「自宅に関するリフォームなどの相談」を行っています。

本稿では高齢者向け住宅への住み替え相談に絞って進めていきます。

相談業務は平成21年8月から開始し、今年で13年目。年間約1,000件のご相談を受けています。相談員は全員ボランティアで、「中立公平」をモットーにご相談者の希望に叶うよう住み探しをお手伝いしております。また、札幌市社会福祉協議会さんのご依頼で月2回、社会福祉総合センターの1階アトリウムで出張相談も行っております。他に、各種団体からのご依頼で出前相談も承っております。



札幌市社会福祉総合センターでの出張相談

「みな住まいる札幌」での活動

2020年4月に札幌市が「札幌市居住支援協議会」を設立しました。我々はその居住支援相談窓口「みな住まいる札幌」での相談業務を担っています。この2年間で高齢者の方からの住替え相談を始め、生活保護受給の方・障がいをもっておられる方・コロナで収入が減った方・DVの被害を受けた方・離婚により転居しなければならない方など様々な方が住まいの相談に来られております。

「みな住まいる札幌」での相談を始めてから1年半が過ぎ、2021年10月末で1,506件のご相談があり、内1,256件が高齢者の方からの相談となっています。

その中で、高齢者の方の主な相談内容については表の通りで、単身生活での将来不安や介護による介護者の疲弊がそれぞれ10%を超えているのが分かります。

相談の内容	件数	割合(%)
将来不安	195件	15.5%
家族介護が困難	152件	12.1%
住まいの構造(老朽化・除雪など)	114件	9.1%
高齢者住宅からの住み替え	107件	8.5%
親の呼び寄せ	94件	7.5%
賃貸住宅からの退去	86件	6.8%
退院後の住宅探し	70件	5.6%
合計	1,256件	100.0%

表:高齢者の方の主な相談内容

相談から見えてくるこれからの高齢者の住み支援

前述の通り、相談内容のトップを占めているのが高齢者の方の「将来不安」となっています。2025年には団塊の世代が全員75歳以上となり超高齢社会に突入します。札幌市の場合、高齢単身世帯が一般世帯数に占める割合が14.5%(7世帯に1世帯)になると見込まれています。これは、引きも直さず高齢者向け住宅への住み替え需要がこれからも増えてくることを意味し、今以上に有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅が高齢者の生活の場として位置づけられてくるものと思います。

高齢者向け住宅への住み替え相談は高齢者にとってますます重要になってくると考えています。「市民による市民のためのシニア住まい相談処」として今後とも住み探しをお手伝いしていきます。



「みな住まいる札幌」での相談風景

お問い合わせ

一般社団法人 あんしん住まいサッポロ
札幌市中央区南1条東2丁目
ノーザンヒルズ大通東9F
TEL・FAX:011-231-6822
E-mail:ansuma.sapporo@gmail.com



▲HPはこちら

相談窓口「みな住まいる札幌」
札幌市中央区北1条西2丁目9番地
オーク札幌ビル1階
TEL:011-210-6224 FAX:011-210-7722



▲リーフレットはこちら



まもりん だより

社協をお気軽に
ご利用ください!

令和4年度ボランティア各種講座の開催について

ボランティア活動センターでは、年間を通して様々なボランティア講座を開催しております。講座の詳細については、本会ホームページのほか、各区社協・区民センター等に配架してある年間の講座を掲載した一覧冊子をご覧ください。

この記事へのお問い合わせは
ボランティア活動センターへ



▲詳しくはこちら

《新型コロナウイルス感染症対策について》

みなさまに安心して受講していただけるよう、受付時の検温・手指消毒のほか、受講者席にはアクリル板を設置し、室内の換気・座席間の距離を確保した開催に努めています。令和4年度は、一部講座をのぞき最大21名定員で開催しますが、感染拡大状況により、規模を縮小、または開催中止する場合があります。



換気のもと距離を保って
受講していただきます(最大21名)



受講受付の際に検温と手指消毒
をお願いしています

新年度ボランティア活動保険の受付と行事用保険料変更のお知らせ

この記事へのお問い合わせは
ボランティア活動センターへ

新年度の保険受付を令和4年3月15日(火)より開始いたします。ご加入手続きの際は、お釣りのないよう保険料をお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。

【ボランティア活動保険】

令和3年度のボランティア活動保険の補償期間は令和4年3月31日(木)にて終了します。4月1日(金)以降も活動継続される場合は更新手続きをお願いいたします。

ボランティア活動保険は、おひとり様一口加入を原則としています。介護サポーターとして登録をされている方は、札幌市社会福祉協議会にて更新手続きを行いますので個人での更新手続きは不要です。この他、所属団体が一括して更新手続きを行う場合もありますので、団体に所属されている方は、所属先にお確かめの上、更新手続きをお取りください。

令和4年度の活動保険料については、全プラン変更はありません。(補償内容は一部変更)

【ボランティア活動等行事用保険】

保険商品の改定に伴い、令和4年4月1日以降の行事用保険料が一部変更となります。

		令和3年度	令和4年度
A型 1日行事 (20名以上)	a料率	30円	31円
	b料率	138円	138円
	c料率	270円	270円

※網掛け部分が変更部分となります。
※B型行事の保険料の変更はありません。

ボランティア活動保険

ボランティアが活動中の事故によりボランティア自身がケガをしたり、他人に損害を与えたことにより賠償問題が生じた場合に補償する保険です。

ボランティア活動等行事用保険

福祉活動やボランティア活動を目的として、または市民活動の一環として非営利の団体が主催する行事に参加中に、①参加者が偶然の事故でけがをした場合の障害補償と②行事主催者が参加者等他人の身体や財物に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合の賠償責任補償がセットになった保険です。



▲詳しくはこちら



※掲載しているイベント・研修は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止または延期になる可能性があります。

札幌市の赤い羽根共同募金 ★NEWS☆

この記事へのお申込み・お問い合わせは
札幌市共同募金委員会へ

札幌市共同募金委員会では、シマエナガをモチーフにした札幌市の赤い羽根共同募金マスコットキャラクター「えなまるちゃん」をプリントしたエコバッグを作成しました。

500円以上の募金※をいただいた方に1個プレゼントしています。

ご希望の方は、札幌市共同募金委員会(TEL:614-3532)までお問合せください!

※1個につき約200円が募金となります。

詳しくはこちら



この記事へのお問い合わせは
広報戦略室へ

わたしの生き方セミナー いつまでも自分らしく～終活2022～

人生で欠かすことのできない「衣(医)・食(職)・住(充)・財(才)」をテーマに、様々な分野の講師を迎え講座を行います。思い通りの「終活」してみませんか?

※新型コロナウイルス感染症対策のため、事前申込制(先着順)、定員制となっています。

動画配信中!

新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった令和3年4月、5月、6月、および開催した7月、8月、10月のセミナーは録画し、現在、YouTubeで視聴可能です。(9月については公開終了)



視聴はこちらからどうぞ

日時 毎月第4水曜日10時00分～11時30分
(質疑応答30分程度)

費用 無料

会場 大研修室
(札幌市社会福祉総合センター4階)

定員 50名程度
先着順で順次受付(定員に達した場合はキャンセル待ちで受付)

お申込み 随時受付中(電話・FAX・窓口でどうぞ)

※新型コロナウイルス感染症対策により開催中止となった場合は、講座の様子を録画して後日ホームページで動画配信を行います。



左)第8回の講師
まいお片づけ
代表 寺嶋 恭子さん

右)第9回の講師
房川・平尾法律事務所
弁護士 平尾 功二さん

開催日	内容	講師
3月23日 (水) テーマ「充」	地域で輝くシニアのチカラ～今こそ仲間と一緒に活動を!	認定NPO法人シーズネット 理事長 奥田 龍人氏
4月27日 (水) テーマ「食」	家庭菜園の楽しみ!～成功する畑づくりのポイント	サッポロ さとらんど 副施設長 奥山 誠氏

	内容	講師
第1回「才」	人生100年時代～終活の知識で延ばそう心健康寿命	元北海道新聞編集委員 フリー記者 福田 淳一氏
第2回「充」	これからのコミュニケーション～過去を整理して未来に生きよう	ヒューマンタイド 代表 西田 郁子氏
第3回「財」	エンディングノートでつなぐ「絆」～人生の最後に大切な人に伝えたいこと	第一生命保険株式会社 相続コンサルタント 苅谷 千賀子氏
第4回「食」	「醤油」のヒミツ教えます～醤油で学ぶ歴史と文化	ヤマサ醤油株式会社 札幌支店 石井 啓一郎氏
第5回「充」	スポーツで健康寿命を延ばそう!～金メダリストが教えます!楽しく続けられるシニアのスポーツ	札幌オリンピックミュージアム 名誉館長 阿部 雅司氏
第7回「医」	オーラルフレイルってなに?	(一社)札幌歯科医師会 理事 當山 悟氏 (ルウ歯科クリニック医院長)

SHAKYO TOPICS

今月のトピックス

社協のホームヘルプサービス

「自宅で」「自分らしく」「自立した」生活を応援!

「いつまでも、住み慣れた家で自由に暮らしたい」とお考えの方は多いのではないのでしょうか。

札幌市社会福祉協議会では、札幌市内全域をサービスエリアにホームヘルプサービス事業を実施しています。

ヘルパーが支援する内容は、食事、入浴、排せつ、通院や買物時の外出介助といった身体介護全般のほか、服薬状況の確認、栄養バランスを考慮した調理、清潔な環境保持のための掃除や洗濯など多岐にわたります。

当会に在籍するヘルパー約570名は全員が介護福祉士などの専門資格を有しており、多種多様なニーズに対応します。

また、中央区、北区を中心としたエリアでは、24時間365日サービスを展開しており、まさに「雨ニモマケズ風ニモマケズ雪ニモマケズ」市民

の在宅生活を支えています。

超高齢社会を迎えた今日、社協ヘルパーは市民の在宅生活を、これからも全力で応援していきます。



業務記録はICT化により大幅な効率化を実現



ご利用者と一緒に

在宅介護の応援団 ヘルパー全市で募集中!

高齢者や障がい者の在宅生活を支援するホームヘルパーを全市で募集しています。家事や育児、Wワークの都合などに合わせて、勤務時間を調整することができます。また、充実した各種マニュアルや研修体制により、未経験者も手厚くサポートいたします。

まずはお気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ

札幌市社会福祉協議会 介護事業課
札幌市中央区大通西19丁目1-1
札幌市社会福祉総合センター2階
TEL 011-623-0001



社協♥INFORMATION

※掲載しているイベント・研修は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止または延期になる可能性があります。
 ※当日はマスク着用、手指の消毒など、感染症対策へのご協力をお願いします。

福祉除雪地域協力員の募集

自力で除雪が困難な高齢の方や障がいのある方を対象に、道路に面した出入り口部分と玄関先までの通路部分(敷地内)の除雪活動をしてくださる個人・団体・企業を募集しています。



協力員には、12月1日～3月25日の活動期間終了後に1世帯21,000円を活動費としてお支払いします。

みなさんの優しさをスcoopに込めて、活動を通じてご自身の健康づくりにも役立つ福祉除雪へご協力をお願いします。



▲詳しくはこちら

<お申込み・お問い合わせ>

地域福祉係・各区社会福祉協議会

福祉専門職員を募集しています!



あなたのキャリアを活かしてみませんか?

札幌市社会福祉協議会では、各種事業を推進するために福祉専門職員を募集しています。



<お申込み・お問い合わせ> 職員係



フォロー
してまも!



@mamorin93



▲詳しくはこちら

ほっ・とプラザ協力会員の募集

日常生活に支障がある、高齢者や障がい者、病弱な方、産前産後各8週以内の方への家事の手助けや外出時の付き添い、除雪などを行う「有償ボランティア事業」を行っています。会員登録制で、以下の日程で実施する登録説明会(前半は登録説明、後半は活動前研修)を受講することで、経験のない方でも有償ボランティア活動に参加することができます。

日時 令和4年3月15日(火)・・・①

4月15日(金)・・・②

5月13日(金)・・・③

いずれも9時30分～13時00分

場所 社会福祉総合センター 3階

①②第3会議室 ③第2会議室

対象 有償ボランティアに関心のある方

費用 入会金 1,200円

お申込み開始日 ①受付中、②③令和4年3月11日(金)



▲詳しくはこちら

<お申込み・お問い合わせ> ほっ・とプラザ

さっぽろ子育てサポートセンター提供会員募集

育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員になり、育児を手助けする「有償ボランティア事業」を行っています。子供の見守りや保育園の送迎など、子育て中の方が、ちょっとした手助けが欲しい時のサポートです。登録後、11時間の講習があるので、安心して活動に入ることができます。

日時 令和4年5月12日(木)10時00分～11時30分

場所 社会福祉総合センター 4階

視聴覚兼会議室

対象 札幌市在住、成人の方

お申込み開始日 令和4年4月1日(金)



▲詳しくはこちら

<お申込み・お問い合わせ> さっぽろ子育てサポートセンター

情報センター資料室発!
福祉関係者に
おすすめの一冊

『生きがいのボランティア おもちゃドクター』

市来 歳世彦/泉社 定価/1,980円(税込価格)

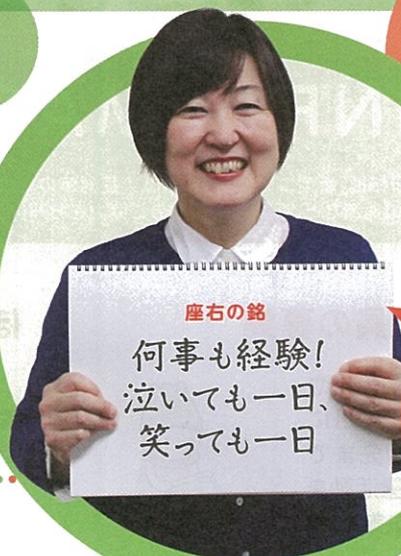
子供の頃から工作好きだった著者が、退職後、地域でおもちゃを修理するボランティアとして活動する様子を一冊の本にまとめました。

懐かしいおもちゃや、その部品、修理の過程を写真で紹介し、ものを大切にする心を育む「おもちゃドクター」の魅力を伝えます。



情報センター資料室で貸出している本やDVDの蔵書検索は、こちらからご覧になれます。
本の貸出を希望される方は情報センター資料室にお越しください。
URL <http://www.lib-finder.net/sapporo-shakyo/servlet/Index>





PROFILE

はやし
林 かおり

介護事業部 西ヘルパーセンター
ヘルパー職

入職日

令和2年3月

休日の過ごし方
カフェでまったり
掃除

人にも自分にも 優しくなれる職場

大自然と人との触れ合いの中で

私は網走市出身で、大自然の中、野山を駆け回って成長しました。高校卒業後は北海道警察に採用され、帯広市に交通巡視員として配属されました。幼稚園や老人クラブ等で安全教室を行う際には、皆さんの笑顔に励まされながら勤務していました。

結婚を機に主婦となり、夫の転勤で道内を転々としたのですが、その間もファミリーレストラン等で働く傍ら、ボランティアも行っていました。人に関わり、喜んでいただけることが嬉しくてリフレクソロジーの資格を取り、老人保健施設とファミリーレストランとの二足のわらじで働きだしました。資格を活かし、ホスピスでボランティア活動をしていたところ、在宅介護に興味がわき、いずれは介護の資格も得たいとも思っていました。

転機は家族の介護

そんな時、認知症の母を介護していた父が病に倒れました。入院先でつき添っている時に、父がベッドから落ちそうになっても、医療や福祉の資格のない私はその都度看護師さんと呼ぶこととなります。褥瘡(じょくそう)もできて苦しそうですが、そのケアもわかりません。そばにいても知識がないばかりに役に立てないつらさが身に沁みました。

父が亡くなった後、母は札幌のサービス付き高齢者住宅に入居しました。そして母のために市社協の「介護力向上研修」を受講したところ大変勉強になり、思い切って介護職員初任者研修の資格取得に挑戦しました。修了後は市社協にホームヘルパーとして採用され、西ヘルパーセンターに配属されました。

ワークライフバランスが可能な職場

現在は、ホームヘルパーとして、ご利用者宅を訪問し、買い物同行、服薬支援、おむつ交換等の活動を行っています。活動は自宅から直行直帰が可能ですし、市社協ではICT化が進んでいますので、報告や申し送りも専用の

アプリを使ってスマホで行うので大変スムーズで安心です。月1回の会議もリモートで行いますので、移動の時間もかからず助かっています。

先輩たちも面倒見の良い頼れる方ばかりで、自信がつくまで何度でもご利用者宅に同行もしてくださるし、介護実技も繰り返し練習させてくれますので、安心して活動に取り組むことが出来ます。

ヘルパーは、人に優しくなれる仕事

私は毎日、母の介護をしています。また市社協のホームヘルパーとは別に、他の事業所のデイサービスでリラクゼーションのスタッフとしても稼働し、セラピードッグの普及に関するボランティア活動も行っています。市社協では、自分の時間が確保できますからダブルワークも親の介護も、ボランティアも可能です。ライフスタイルに合わせた働き方ができる自由を味わっています。



同時に、母の施設のヘルパーさんには大変感謝しています。自分がホームヘルパーとして活動していますので、ヘルパーとしての気持ちも利用者としての気持ちもよくわかるようになりました。毎日施設に通っていると、自分で介護できるのでは?と言われたこともあります。ヘルパーさんのおかげで自分の時間を持つことが出来ますし、母と心を通わせることも、いつも笑顔で待ってくださっているご利用者宅での活動も実現しているのだと思います。

福祉の仕事は人に喜んでいただけるだけでなく、自分自身も大切なものを受け取ることが出来る素敵な仕事だと思っています。今後も市社協でホームヘルパーとして働きながら、実務者研修を受けて、介護福祉士の資格に挑戦したいと思っています。



これから就職を考えている方(学生の方)へのメッセージ

市社協は研修の機会が多く、現場においても上司や先輩たちから丁寧にその人に合わせた支援が受けられます。知識や学びを深めることでスキルアップが可能ですし、資格取得のためのサポートも充実しています。

あなたもぜひ、一緒に活動しましょう!

※写真撮影時のみマスクを外しています

ご寄付ありがとうございました

札幌市社協は、「税額控除対象社会福祉法人」です。



- 2021年 11月 1日 中央老人福祉センター 手芸サークル 様
- 11月 5日 ジブラルタ生命保険株式会社 札幌西支社 様
- 11月 8日 セブン-イレブン・ジャパン札幌地区事務所 様
- 11月 9日 株式会社ツルハホールディングス 様
- ユニ・チャーム株式会社 様
- 11月12日 日立物流ソフトウェア株式会社「まごころ基金」 様
- 日立物流ソフトウェア株式会社 様
- 11月18日 生活クラブ生活協同組合 理事長 山崎 栄子 様
- 札幌山の手高等学校 様

- 11月19日 深田 新 様・深田 順子 様
- 12月 2日 宗教法人真如苑 北海道本部 様
- 12月 8日 有楽製菓株式会社 札幌工場 様
- 12月14日 石川 法男 様
- 12月21日 一般社団法人 北海道信用金庫ひまわり財団
- 理事長 吉本 淳一 様
- 12月28日 あおもり監産業協同組合 代表理事 吉田 久幸 様
- 他、匿名の方 5名

※写真撮影時のみマスクを外しています



内部広報 「今日のイネ！」より

「今日のイネ」とは 職員が「これは良い!」と感じた、6つのアクションを実施する活動や行動を取り上げて紹介・共有するしくみです。



投稿者: 北区第2地域包括支援センター
 北区第2地域包括支援センターにて、チェロの演奏会が開かれました。演奏者は当包括で担当している要支援のご利用者。コロナ禍で人前で披露する機会を失われていたところ、今回の企画となりました。ご利用者は独学で演奏を身につけたそうです。私たち職員も業務の合間に、優雅なひと時を過ごすことが出来ました。

投稿者: 総務課
 コロナ感染拡大の影響により、延期となっていた表彰式を11月5日、ついに開催することができました。市社協会長表彰表彰式には受賞者、同伴者等61名の方が、市共募会長表彰表彰式には、同じく32名の方が参加されました。受賞者の皆様、心よりお祝い申し上げます!!

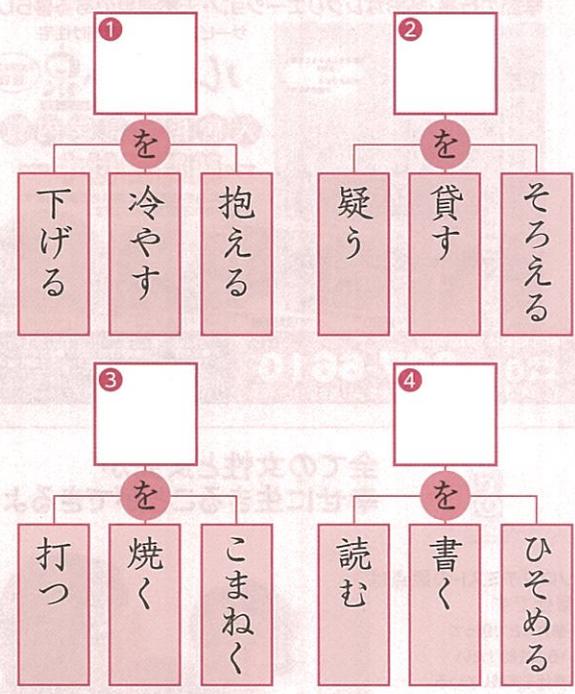


投稿者: 介護事業課支援事業係
 昨年12月2日号の介護新聞に、まもりんガーデン澄川の紹介記事が掲載されました。まもりんガーデン澄川は、民家を改修した小規模デイサービスで、家庭的な雰囲気と、少人数ならではの個別の対応にご好評をいただいております。オーナーさんも、「このように取り上げられてとてもうれしく思っています。」とお喜びでした。オーナーさんの丹精込めたガーデンとともに、これからも地域に根差した運営を続けてまいります!

パズルで脳トレ!

難易度 ★★★

慣用句パズル
 「目を細める」「目を奪われる」のように、下の言葉とつなげると慣用句になる漢字1字を①～④の空欄に入れてください。それぞれ体の一部を表す漢字が入ります。



答えは次号に掲載! 制作協力: 社会福祉法人深仁会法人本部 地域支援事業推進課 NPO法人シズネット「脳活塾」 塾長 柿沼 英樹

問い合わせ先一覧

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター3階
 <代表> 電話:614-3345 FAX:614-1109

- 総務部
 - 総務課・広報戦略室・展示ホール… 614-3345
 - 職員課… 623-0010
 - 経営財務課… 614-3343
 - 情報センター資料室… 614-2001
 - 社会福祉総合センター… 614-2948
- 地域福祉部
 - 地域福祉係… 614-3344
 - 生活福祉係… 614-0169
 - 札幌市共同募金委員会… 614-3532
 - ボランティア活動センター… 623-4000
 - ほっ・とプラザ… 623-4010
 - さっぽろ子育てサポートセンター… 623-2415
 - 高齢者・障がい者生活あんしん支援センター(権利擁護係・相談係)… 632-7355
- 介護事業部
 - 介護事業課… 623-0001
- 施設福祉部
 - 施設福祉係… 614-1002
 - 養護老人ホーム長生園… 614-1171
 - 札幌市保養センター駒岡… 583-8553
- 地域包括部
 - 地域包括課… 623-4021
 - 調査課… 623-4022
- 中央区社会福祉協議会… 281-6113
- 北区社会福祉協議会… 757-2482
- 東区社会福祉協議会… 741-6440
- 白石区社会福祉協議会… 861-3700
- 厚別区社会福祉協議会… 895-2483
- 豊平区社会福祉協議会… 815-2940
- 清田区社会福祉協議会… 889-2491
- 南区社会福祉協議会… 582-2415
- 西区社会福祉協議会… 641-6996
- 手稲区社会福祉協議会… 681-2644

電子書籍ポータルサイト[hokkaido ebooks]でもご覧になれます。
<https://www.hokkaido-ebooks.jp/>
 ホームページでもご覧になれます。 <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>



赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています。